

- 4月13日午前8時40分頃、タンクエリアパトロールにおいて、H5タンクエリア脇(北側)に設置されているプラスチックタンクより水が漏れいていることを協力企業作業員が発見。
- 漏れいはタンクにキズがあった箇所から発生しており、開口部を養生するとともに、タンク下部に枕木をあて、キズの箇所が上向きとなるよう処置を行った。
- 漏れいした付近の土壌は回収を実施中。
- プラスチックタンクの容量は1m³。
- 漏れい範囲は当該タンク周囲。
(約15m×約3mにおける1/4程度の範囲)
- 周囲に側溝が無いことから、海への流出はないものと考えている。

概要

<漏れい量>

- 最大1m³
- 漏れい範囲の土壌回収作業を実施中。
- 漏れい範囲を確認し、近くに排水路がないことから、海への流出はないと考えている。

<漏れい水の表面線量率>

- バックグラウンドと同等 (0.04mSv/h)

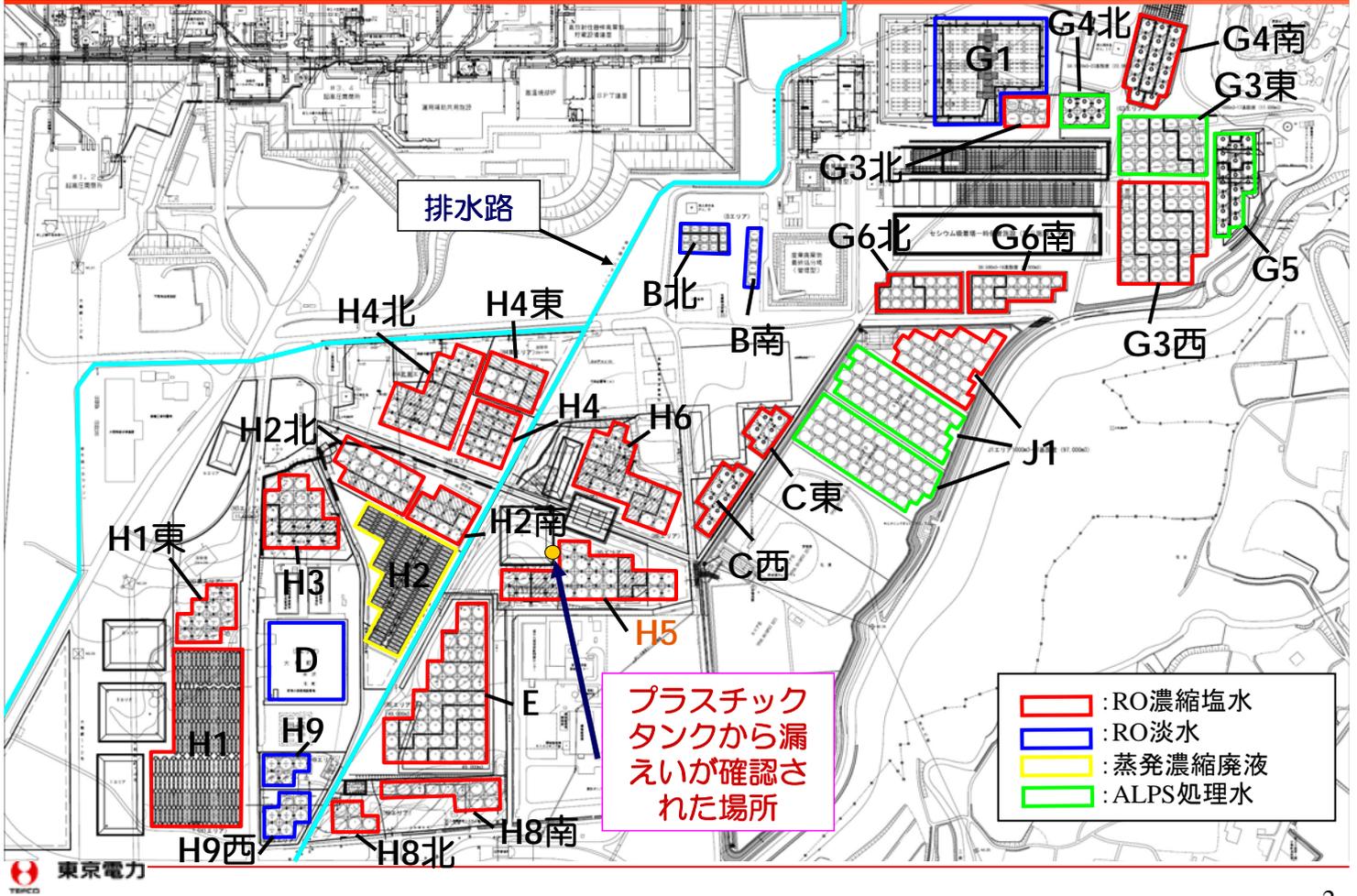
<漏れい水の分析結果> (タンク内残留水(懸濁)を分析)

- ・セシウム134 : 440Bq/L
- ・セシウム137 : 1,200Bq/L
- ・全ベータ : 1,400Bq/L
- ・ストロンチウム90 : 11Bq/L

<原因>

- 調査中

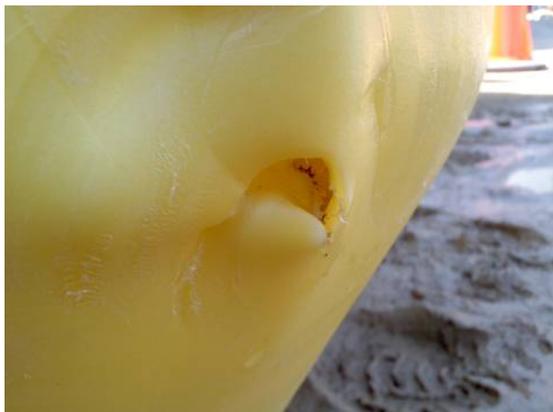
構内タンク配置図



状況



発見時の状況



傷口の状況



漏れ範囲